

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成27年度 第1回 所沢市環境審議会
開 催 日 時	平成27年7月16日(木) 15:00~17:00
開 催 場 所	市庁舎 低層棟 第5委員会室
出席者の氏名	田中充 天野正博 足立圭子 秋元智子 毛利吉成 上田マリノ 北田律子 永島裕久 松山謙一
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 環境審議会委員の委嘱 3 市長あいさつ 4 各委員の自己紹介 5 環境審議会会長・副会長の選出 6 諮 問 7 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関係諸計画の概要及び進捗状況について (2) 諮問事項の概要及び進捗状況について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他 8 閉 会
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 資料 1-1 第2期所沢市環境基本計画(旧計画)の達成状況 <input type="checkbox"/> 資料 1-2-1 スマートエネルギープロジェクト進捗状況 <input type="checkbox"/> 資料 1-2-2 グリーンアッププロジェクト進捗状況 <input type="checkbox"/> 資料 1-2-3 「もったいない」プロジェクト進捗状況 <input type="checkbox"/> 資料 1-3 「第2期所沢市環境基本計画 改訂版」 【諮問箇所抜粋】 <input type="checkbox"/> 資料 1-4 今後のスケジュール <input type="checkbox"/> 参考資料 1 所沢環境審議会委員名簿 <input type="checkbox"/> 参考資料 2 第2期所沢市環境基本計画 改訂版(2015~2018年度) 【本編・概要版】 <input type="checkbox"/> 参考資料 3 第2期所沢市環境基本計画 旧計画【概要版】 <input type="checkbox"/> 参考資料 4 マチごとエコタウン所沢構想【本編・概要版】 <input type="checkbox"/> 参考資料 5 平成26年度版「所沢市の環境」 <input type="checkbox"/> 参考資料 6 第5次所沢市総合計画後期基本計画 (平成27~30年度)【6章抜粋】 <input type="checkbox"/> 参考資料 7 第5次所沢市総合計画後期基本計画 概要版

担 当 部 課 名	環境クリーン部	部 長	越 阪 部 孝 夫
	環境政策課	次 長	大 澤 稔
		課 長	大 舘 真 哉
		主 幹	安 藤 善 雄
	環境対策課	主 査	肥 沼 克 年
		主 事	中 林 謙 太
		主 事	溝 越 弘 倫
みどり自然課	課 長	青 木 邦 雄	
資源循環推進課	参 事	関 谷 佳 和	
	課 長	池 田 淳	
環境クリーン部環境政策課			電話 04 - 2998 - 9133

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
課長	開会・あいさつ
市長	委嘱状の交付
市長	あいさつ
各委員	自己紹介
市長	<p>会長・副会長の選出 会長：田中 委員 副会長：毛利 委員</p>
事務局	<p>諮問の依頼</p>
事務局	<p>会議の運営について 「会議の公開・非公開」 「会議録の作成方法」 「会議録の確定方法」 以上の3点について事務局より説明。</p>
会長	<p>特に意見・質問が無い場合、事務局の説明通り会議運営を行う。 《決定事項》 会議については、規定に則り、「議題」については原則公開で開催することとした。 会議録の作成について、委員の発言、質疑応答は要約方式とし、発言者については、単に「委員」と記載することとした。 会議録については、各委員が確認の上、会長が承認し確定することとした。</p>
委員	議事録はホームページ等で公開するのか？
大館課長	議事録は最終的にはホームページで公開する。

会 長	今回の審議会では、まず諮問事項の確認することが重要であるので、まず、議題（２）諮問事項の概要及び進捗状況について、事務局より説明いただきたい。
事務局	議題（２）諮問事項の概要及び進捗状況について ・資料 1-3、資料 1-2-1 に基づき説明 < 質疑応答 >
会 長	今回は温暖化対策における効果的な推進方策について、ということが真意であると感じたが、各委員は何か質問はあるか。
委 員	具体的にはどういった推進方策をイメージしているのか。
会 長	この審議会の答申では、どういったイメージをしているのか。
課 長	具体的な取り組みや事業などについてご提案いただきたい。 今年度では、中間答申をいただき、最終年度にて、最終的な答申をいただきたいと考えている。 市民全体でCO2を削減するために、どのような取り組みが効果的か提案をいただきたいのが真意である。
委 員	どれだけCO2を削減するのかという結果を重視するのか、または、市民のパフォーマンスを重視するのか。CO2の削減を重視すると、エネルギーミックスの関係もあり、なかなか難しい。 市民のパフォーマンスのことであれば、アドバイスができる。
委 員	私たちはこの第２期環境基本計画における進捗状況や、パフォーマンスを議論するのか。 平成 26 年度の実績を鑑みながら、これからの温暖化対策の方策を議論していくのか。
会 長	すでに新しい計画ができておりプロジェクトも動き出している中、さらに追加の施策が必要なのか、あるいは、現在行っている取り組みの進め方について意見が必要なのかとう趣旨の質問である。

委員	<p>新計画では、平成 30 年度の温室効果ガス排出削減率が 3.8%に変わっている。今回の審議会は、この 3.8%の削減目標を達成するための取り組みを考えているということなのか。それとも、P D C A サイクルを担うものなのか。</p>
大館課長	<p>具体的に今後何を進めていくのか、市サイドでも、迷うところがある。先日、埼玉県より、モデル都市の指定を受け、事業案を考えているところである。市民の方々に波及するような事業も考えられ、また、先程、委員がおっしゃったソフト事業など、今後どのような普及を行っていけるかも議論いただきたい。本日お越しの委員は、マチエコ大使として、市の各種イベントに協力をいただいている。こういった取り組みや事業について、紹介・提案をいただきたい。</p>
委員	<p>所沢の特徴は、みどりが豊かであるということも含まれるので、是非、こういった取り組みも審議に含めていただきたい。</p>
会長	<p>では、残った資料について事務局より説明し、審議を進めたい。</p>
事務局	<p>議題（１）関係諸計画の概要及び進捗状況について ・参考資料 2、資料 1-1、参考資料 4、資料 1-2-2、資料 1-2-3 に基づき説明</p>
	<p>< 質疑応答 ></p>
会長	<p>事務局の説明について、何か質問はあるか。</p>
委員	<p>資料における諮問事項の範囲は？</p>
安藤主幹	<p>資料 1-3 の地球温暖化対策の推進の部分である。</p>
委員	<p>整理すると、前市長のもとで策定された第 2 期環境基本計画と、現市長のもとで策定された第 2 期環境基本計画改訂版は、環境目標に対する大柱・中柱という構造は変わらない。しかし、第 2 期環境基本計画改訂版では、マチごとエコタウン所沢構想の指標項目を盛り込んだ計画に見直している。</p> <p>さらに、環境基本計画改訂版では、特に地球温暖化対策の推進の</p>

	<p>部分を大きく見直しており、この分野における目標を達成するために、どのような取り組みを行っていけばよいかというのが事務局の趣旨なのでは。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
委員	<p>一つだけ質問だが、個別指標と総合指標は、個別指標を達成すれば総合指標が達成するという厳密な関連性があるのか？</p>
大館課長	<p>厳密な関連性はないが、各分野における指標の中で代表的な指標を総合指標に位置づけている。</p>
委員	<p>温室効果ガス削減率 3.8%は、さらに何か取り組みを進めないと達成できない目標とお考えか。</p>
委員	<p>現在は、エネルギーミックスなど外的な要因が大きく、このままだと 3.8%削減することも難しい状況であると思う。所沢市では、いかに電力消費量を抑えるかということしかできないので、今回の審議会で他の取り組みを考えていこうという趣旨であると思う。</p>
委員	<p>では、新しい施策に取り組まないと 3.8%の削減は難しいので、今回諮問されたということか？</p>
大館課長	<p>委員がおっしゃったように、温室効果ガス排出量では、外的な要因が大きく、改訂版を作成する際には、二酸化炭素排出係数の固定化をするなどの議論があった。長期目標では、二酸化炭素排出係数を固定化し、エネルギーミックスの影響を受けない形で管理をしているが、短期目標では、毎年報告している国や県の報告書と整合させ、変動型で行っている。この 3.8%は旧計画の 25%の削減率に相当するような位置づけで作成している。</p>
会長	<p>一見すると、25%から、3.8%に変更するのは、後退したように見えるので、電力使用量などで目標管理をしていく見せ方もある。</p> <p>整理すると、この審議会で、3.8%の削減率の達成に向け、具体的な施策の肉付けを行って欲しいという理解でよいか。</p>

大館課長	その通りである。
委員	地産（所沢市内でつくられる）エネルギーについては差し引いたほうが市民にも分かりやすく、我々も議論しやすい。また、削減率では、排出係数に左右されてしまい、電力使用量で管理し、外から入ってくる量をどれだけ減らすかということにすればよいのでは。削減率では、今後、原子力発電が再稼働した場合、努力しなくても下がってしまい、目標自体に不具合が生じる。そのためにも、原子力発電を考慮した目標設定をしたらどうか。
委員	努力する内容は変わっていないが、原子力発電が止まり、排出係数の高い火力発電が多数を占めるようになり、こういった数値が出ている。これでは、皆さんが努力した結果がわからない。なので、努力が見える数値も載せたらどうか。
大館課長	排出係数の固定型と変動の2つを併記して市民の方に報告する形で考えている。
会長	環境基本計画を策定するとき、エネルギー消費量を副次目標にするなどの方法はあった。
大館課長	報告時に併記することは可能であるから、議論いただいた内容は報告時に反映したい。
委員	排出係数について、表記の仕方が紛らわしいのでは。
大館課長	市民の方にわかりやすく伝えることは重要であるので、委員の指摘の通り、いくつかの指標の併記は行っていきたい。
会長	審議会の意見としては、固定型も考えたほうがよいのではないかと。あるいは、電力を含めたエネルギー総消費量を管理し、別途の指標として効果を見ていくほうが施策の目安になるのではないかと。

事務局	議題（３）今後のスケジュールについて ・資料１－４に基づき説明
会長	<p>< 質疑応答 ></p> <p>次回の審議会で骨格を作り、第３回審議会で中間答申というのはなかなか難しい。本日の審議会では、目標値について、補完的な資料を作成し、それを進捗管理する考え方がよいのではないかと考えたが、諮問事項まで議論できていない。そこで、中間答申までに２回開催するのはどうか。都合がつかず集まらないのであれば、事務局が各委員から直接意見を聴取し、それをもとに第２回の審議会を開催してはどうか。</p>
委員	スマートエネルギープロジェクトだけでなく、グリーンアッププロジェクトや「もったいない」プロジェクトも含めて答申をするのか。
大館課長	地球温暖化対策の推進の視点から、他に派生するものであればそれも記載する。
委員	3.8%の削減目標に森林吸収量は含まれていないのか。
事務局	入っていない。
委員	温暖化対策実行計画区域施策編の進行管理については、委員会等ではなく、環境審議会で審議するのか。
大館課長	内部の機関はあるが、外部機関はない。この環境審議会にも報告はする予定である。
	議題（４）その他 特になし
	閉会